

新内容項目対応版

■学習指導要領準拠■

[ゆたかな心—新しい道德—]指導資料

道德の年間指導計画例

●「『私たちの道德』との関連」付き●

3年

株式会社光文書院

本書の使い方〔先生がたへ〕

1. 「主題のねらい」を具体的に示し、【評価の観点】としても活用できるよう記しました。
 - 心のあり方だけでなく、行動力の育成も視野に作成しています。
 - 総括的な「◎ねらい」をさらに分析し、具体的な「*ねらい」によってわかりやすく示しました。
 - 具体的な「*ねらい」は、
 - ・どのような感動を期待するか
 - ・どのような道徳的理解や判断力を期待するか
 - ・どのような自分のよさを期待するか
 - ・どのような生き方（実践意欲や態度）を期待するかという観点に基づいて表記しています。
 - 「*ねらい」の表現方法も、評価の観点としての活用をふまえて「……心が動く」「……わかる」「……しようとする」「……課題をもつ」など、子どもの立場に立った表記をしています。
2. 「展開の概要」を多様化しました。
 - 道徳の授業は、さまざまな学習活動によって成り立っていますので、発問の乱発を避け、より具体的な授業展開を描くことができるよう、多様な活動を示しました。
 - “授業は特定の教師と特定の子どもによってつくられる作品である”という立場に立ち、発問も子どもの違いによって変わるものとしてとらえ、授業構想を示しています。
 - 「展開の概要」をもとにして、「子どもの実態に即した発問」を工夫し授業を行うことを想定した展開になっています。
3. 「関連・連携」を強化しました。
 - 道徳教育は、道徳の時間を要として、学校における全教育活動における道徳教育と関連を図るとともに、家庭や地域社会における道徳教育と連携をとって行うものであるという文部科学省の考えに基づいて、関連や連携例に力を入れて示しました。
 - これを受けて、授業後の子どもの活動を促す「発展」を指導書（研究編）に提示し、児童書の最後にその内容を子ども向きの表現で示しています。
4. 『ゆたかな心』と『私たちの道徳』のそれぞれの特長を生かして、より効果的に活用するための計画案を示しています。
 - 『私たちの道徳』と併用しやすい工夫を加えました。
 - 道徳授業を深める『ゆたかな心』と、それを広げる『私たちの道徳』の効果的な関連方法を表記する欄を設けました。
 - 『私たちの道徳』の読み物資料を計画例に加え『ゆたかな心』の資料と選択できるよう配慮しました。

※2016年度改訂版『私たちの道徳』で追加された新内容項目の資料との対応表です。必要に応じて、ご利用ください。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】周りの人たちと、もっと仲良くするために〔主題名／周りの人たちと、もっと仲良くするために〕〈相互理解，寛容〉				
月				<p>【導入】P174・P175を活用し、「周りの人たちと、もっと仲良くするために」どうしたらよいかを考えさせる。</p> <p>【終末・発展】P176・P177を活用し、考えたことを、実生活に生かすようにさせる。</p>
【私たちの道徳】うれしく思えた日から〔主題名／自分の良い所をのばして〕〈個性の伸長〉				
月				<p>【導入】P178・P179を活用し、「分けへだてをしない」ためには、どうすればよいと思うか発表させる。</p> <p>【終末】P180～P183を活用し、分けへだてをせずに友達と接するために大切だと思われることをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

1. 世界一うつくしい体そうをめざして—内村航平—〔主題名／特徴を特長に〕〈個性の伸長〉

4 月	<p>◎自分の特徴に気づき、よい所を磨いて特長にしていこうとする。</p> <p>*オリンピックで金メダルを取った内村航平選手の生き方に感動する。</p> <p>*自分の特徴を磨いていくことが大切であるということがわかる。</p> <p>*自分の特徴に気づき、それを磨いていこうとする意欲をもつ。</p>	<p>1 何かを成しとげるために大切な要素を考える。</p> <p>2 内村航平選手はなぜ世界一になれたかという観点で資料を読む。</p> <p>3 内村航平選手が世界一になれた理由について話し合う。</p> <p>4 自分の生活に重ねながら、「自分の特徴を磨いて特長にする」とはどういうことか考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『世界一うつくしい体そうをめざして—内村航平—』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②特別活動……友達のよさを発表し合う。</p> <p>③総合的な学習の時間……自分の夢について友達と話し合う。</p>	<p>【展開後段】P46・P47を活用して、自分の特徴をみる活動をさせる。</p> <p>【終末】P48を活用して、まとめの活動をさせる。</p> <p>【発展】P49を活用して、伝記を読ませる活動をさせる。</p>
--------	--	---	--	--

【私たちの道徳】うれしく思えた日から〔主題名／自分の良い所をのばして〕〈個性の伸長〉

4 月				<p>【展開後段】P46・P47を活用して、自分の特徴をみる活動をさせる。</p> <p>【終末】P48を活用して、まとめの活動をさせる。</p> <p>【発展】P49を活用して、伝記を読ませる活動をさせる。</p>
--------	--	--	--	--

2. 植物のふしぎ〔主題名／しぜんのすばらしさ〕〈自然愛護〉

4 月	<p>◎自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にす。</p> <p>*植物の美しさに心が動く。</p> <p>*植物の不思議さに感動し、植物が環境に応じた姿で生きていることがわかる。</p> <p>*自然や動植物に対して、今まで以上に大切にしていこうとする。</p>	<p>1 植物の育ちについて話し合う。</p> <p>2 資料『植物のふしぎ』を読み、話し合う。</p> <p>3 自然の生き物で不思議に思ったことを話し合う。</p>	<p>①各教科など……理科の学習を通して、植物の育ち方を理解し、興味をもつようにさせる。</p> <p>②道徳の授業……資料『植物のふしぎ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③日常生活……家庭でも自分で種をまき、植物を育ててみるようにさせる。</p>	<p>【終末】P102～P105を活用して、動物や植物の生命力や不思議さについて、資料『植物のふしぎ』で学んだことを広げさせる。</p> <p>【発展】P106を活用して、自然や自分とのかかわりをまとめさせたり、P107の牧野富太郎の伝記を読ませたりする。</p>
--------	---	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
3. 千ばづる【主題名／しょうじきな心】〈正直，誠実〉				
4月	<p>◎自分に正直に，明るい心で生活しようとする。</p> <p>*心が正しくまっすぐにはたらいっている正直な心をもった人の話を読んで，感動することができる。</p> <p>*自分の心に正直でないと，いつまでも落ち着かないことがわかる。</p> <p>*真心をもって正直に行動すれば，心は晴れ晴れとして明るくなることに気づき，自分にも真心があることに気づく。</p> <p>*正直に行動しようとする意欲をもつことができる。</p>	<p>1 「ぼくのおったつる，かえして」と言い出したわけを考えながら資料を読む。</p> <p>2 主人公が「ぼくのおったつる，かえして」と言ったわけについて考える。</p> <p>3 二度目に折った鶴が金色に光っていたことについて考える。</p> <p>4 正直さについて，主人公と自分のあり方を比べて考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『千ばづる』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……学級において，係活動や清掃活動で正直に，明るい心でふるまっている友達を反省会などの場で称賛させる。</p> <p>②朝の会・帰りの会……正直に，明るい心でふるまっている友達の姿を具体的に発表して称賛させる。</p>	<p>【導入】P38・P39 を活用して，なぜ正直に言えないかについて考えさせる。</p> <p>【展開後段】P40 を活用して，自分の心を見つめさせる。</p> <p>【発展】P41 を活用して，正直な心をもった人をさがす活動をさせる。</p>
【私たちの道徳】六セント半のおつり【主題名／正直に明るい心で】〈正直，誠実〉				
4月				<p>【導入】P38・P39 を活用して，なぜ正直に言えないかについて考えさせる。</p> <p>【展開後段】P40 を活用して，自分の心を見つめさせる。</p> <p>【発展】P41 を活用して，正直な心をもった人をさがす活動をさせる。</p>
4. 電話のおじぎ【主題名／心をこめて】〈礼儀〉				
5月	<p>◎礼儀の大切さを知り，だれに対しても真心をもって接し，お互いに気持ちよく生活しようとする。</p> <p>*真心の意味について知る。</p> <p>*あいさつや会釈は，相手の存在を認めたとときに出るものであることを知る。</p> <p>*形や心がそろってこそ，相手に通じるものであることを知る。</p> <p>*心を込めて，あいさつをしようと努めるようになる。</p>	<p>1 電話で話すときはどんなことに気をつけているかを考える。</p> <p>2 資料『電話のおじぎ』の前半を読んで，晶子さんと洋一君はおばあちゃんの電話をどのような気持ちで見ていたかを話し合う。</p> <p>3 資料の後半を読んで，晶子さんがお母さんの話になぜうなずいたのは，どのような考えなのかを話し合う。</p> <p>4 どのようにすれば，自分の気持ちが相手に伝わるのかについて考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『電話のおじぎ』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……人との接し方に関する家庭との連携を図る。</p> <p>③学級活動……「あいさつの励行」に関する標語やポスター作りなどを行わせ，定着を図る。</p>	<p>【展開後段】P57・P58 を活用して，資料『電話のおじぎ』で学んだことを広げさせる。</p> <p>【発展①】P59 を活用して，礼儀の名人を目指そうという活動をさせる。</p> <p>【発展②】P60・P61 を活用して，日本の礼儀について調べる活動をさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
5. 心の優先席〔主題名／きまりを生むもの〕(規則の尊重)				
4月	<p>◎約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。</p> <p>*身の周りのきまりや約束をみんなが大切に守ろうとしていることがわかり、りっぱだなあと心が動く。</p> <p>*さまざまな社会のきまりは、人々が安心して楽しく暮らしていきたいという心が形になったものであることがわかる。</p> <p>*身近にあるきまりの意味を理解し、しっかり守っていこうとする。</p>	<p>1 優先席について考える。</p> <p>2 資料を読んで、おばあさんにどのように接すればいいのかを考える。</p> <p>3 ほかのきまりについて考える。</p>	<p>①日常活動……家庭や地域での生活にある約束やきまりを調べまとめさせる。</p> <p>②道徳の授業……資料『心の優先席』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③特別活動……「身近な気持ちよくすごせるマナーやきまりを見つけよう」という活動を設定して、もっと気をつけなければならないことを調べさせる。</p>	<p>【展開後段】資料『心の優先席』で学んだことを P122・P123 を活用して、広げさせる。</p> <p>【発展】P120・P121 を活用して、きまりやマナーを見つける活動をさせる。</p>
【私たちの道徳】 雨のバス停留所で〔主題名／社会のきまりを守って〕(規則の尊重)				
4月				<p>【展開後段】資料『雨のバス停留所で』で学んだことを P122・P123 を活用して、広げさせる。</p> <p>【発展】P120・P121 を活用して、きまりやマナーを見つける活動をさせる。</p>
6. わたしのしたこと〔主題名／親切とおせっかい〕(親切、思いやり)				
5月	<p>◎親切とおせっかいの違いに気づき、相手の立場になって親切にしようとする。</p> <p>*思いやりの心は自分も相手も気持ちがよくなることを知る。</p> <p>*思いやりは時と場合によって親切とおせっかいの違いが出てくるのがわかる。</p> <p>*相手と同じ気持ちをもつように心がけて、進んで親切にしようとする。</p>	<p>1 「親切」について考える。</p> <p>2 資料『わたしのしたこと』を読んで、「わたし」の思いは何だったのかを話し合い、どうすることがいいのかを考える。</p> <p>3 「親切」について改めて考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『わたしのしたこと』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……話し合い活動の場面を多く取り入れ、友達のよさを朝・帰りの会等で発表させる。</p> <p>③読書活動など……読み聞かせの時間等に「かさこじぞう」などの童話を読み聞かせる。</p> <p>④総合的な学習の時間……地域の特色ある場所や調べたいことの学習から人々とかかわり合いをもつ機会を作るようにさせる。</p>	<p>【終末】P62・P63 を活用してまとめさせる。</p> <p>【発展】P64・P65 を活用して、思いやりを描いた文学作品を読む活動をさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

【私たちの道徳】心と心のあく手〔主題名／相手を思いやり親切に〕〈親切、思いやり〉

5 月				<p>【終末】 P62・P63 を活用してまとめさせる。</p> <p>【発展】 P64・P65 を活用して、思いやりを描いた文学作品を読む活動をさせる。</p>
--------	--	--	--	---

7. 大きな木〔主題名／いのちの力〕〈生命の尊さ〉

5 月	<p>◎命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にしようとする。</p> <p>*生きてるものに秘められた生命の力強さや不思議さを知り、感動する。</p> <p>*力強く生きる樹木に畏敬の念を抱くとともに、自然は治癒力をもっていることがわかる。</p> <p>*自分にも自然と同じように治癒力が備わっていることを自覚する。</p> <p>*生命あるものすべてを大切に、力強く生きようとする。</p>	<p>1 「いのちの力」とはどんな力かを考える。</p> <p>2 資料『大きな木』を読み、木がもつ「いのちの力」をとらえる。</p> <p>3 人間にも木にも共通していえることは何かを話し合う。</p> <p>4 自分も「いのちの力」を発揮していると思うことを葉っぱのカードに書く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『大きな木』を通して、樹木には「生命力」があることをわからせる。〔本時〕</p> <p>②総合的な学習の時間……生命力を発揮し、一生懸命頑張っている人やものを見つけ出し、葉っぱの形のカードに書かせ、大きな木の絵に貼りつける活動をさせる。</p>	<p>【導入】 P90・P91 を活用して、生きているとはどういうことかについて考えさせた後、資料の読みに入らせる。</p> <p>【終末】 P94・P95, P100・P101 を活用して、まとめさせる。</p>
--------	--	--	---	---

【私たちの道徳】ヒキガエルとロバ〔主題名／命あるものを大切に〕〈生命の尊さ〉

5 月				<p>【導入】 P90・P91 を活用して、生きているとはどういうことかについて考えさせた後、資料の読みに入らせる。</p> <p>【終末】 P94・P95, P100・P101 を活用して、まとめさせる。</p>
--------	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
8. おじいさんとぼく【主題名／ささえ合う家族】〈家族愛，家庭生活の充実〉				
6月	<p>◎家族みんなで支え合い，協力し合って楽しい家庭をつくろうとする。</p> <p>*支え合い，助け合いながら生活しているおじいさんとぼくの姿を見て，感動する。</p> <p>*自分の成長を祈り見守ってくれている家族のありがたみがわかる。</p> <p>*自分を支えてくれる家族と協力し合って楽しい家庭をつくろうとする。</p>	<p>1 自分のおじいさんやおばあさんと体験したことを発表する。</p> <p>2 資料『おじいさんとぼく』を読んで，話し合う。</p> <p>3 あまり元気がないおじいさんを見て，ぼくが心に決めた理由を考える。</p> <p>4 支えられている自分から，支える自分になるためにはどんなことが大切かを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『おじいさんとぼく』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……楽しい家庭をつくるために，自分にできる行為を考えて，実行させる。</p> <p>③読書活動……支え合って生きているおじいさんと孫が描かれている物語を読ませる。</p>	<p>【展開後段】P138・P139 を活用して，自分の家族について考えさせる。</p> <p>【発展】P136・P137，P140・P141 を活用して，自分の家族の支え合いについて調べたりまとめたりさせる。</p>

【私たちの道徳】ブラッドレーのせい求書【主題名／家族みんなで協力し合って】〈家族愛，家庭生活の充実〉

6月				<p>【展開後段】P138・P139 を活用して，自分の家族について考えさせる。</p> <p>【発展】P136・P137，P140・P141 を活用して，自分の家族の支え合いについて調べたりまとめたりさせる。</p>
----	--	--	--	---

重点主題

9 しごとチェンジ

10 係活動ダイヤモンド

▶ 重点主題名／自分の力 みんなの力〔協力し助け合う〕

【重点主題のねらい】

◎他者を理解し尊重し合い，協力して物事を成し遂げようとする。

*協力して物事を成し遂げるには，共通の目的意識とやり遂げようとする強い意志が必要であることがわかる。

*協力して物事を成し遂げて得られる満足感や充実感は，お互いを理解し合い尊重し合うことから生まれてくることがわかる。

*他者と励まし合い力を合わせることで，困難な活動も成し遂げられることがわかり，みずからも進んで活動に取り組んでいこうとする。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

9. しごととチェンジ【主題名／きょうりょくの大切さ】〈友情, 信頼 / よりよい学校生活, 集団生活の充実〉

6 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○係活動がうまくできない原因を考え、協力の大切さを知る。 ○みんなで協力して活動できるための「秘けつ」を見つけ、自分たちの活動を見直そうとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料『しごととチェンジ』を読んで、係活動がうまくできない原因と、最後には協力してできたわけを考える。 2 係活動がうまくできるための「秘けつ」をまとめる。 3 みんなで見つけた「秘けつ」をもとに係活動や当番活動に、どんな取り組み方をしてきたのかを振り返る。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>係の仕事を交換してみることで、お互いの仕事をうまく進めていくには協力が必要なことを実感していく子どもたちの姿が描かれている。また、力を合わせて仕事をやり遂げ、その価値を認められたことから、困難を乗り越えてやり遂げられた成就感や協力して活動することの喜びも読み取ることができる。</p>	<p>【展開後段】 P70・P74 を活用して、自分たちの学級について話し合わせる。</p>
--------	--	--	--	--

10. 係活動ダイヤモンド【主題名／力を合わせて】〈友情, 信頼 / よりよい学校生活, 集団生活の充実〉

6 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○係活動を見直し、協力することの意味について考えることができる。 ○お互いを理解し尊重し合うことで自分の力とみんなの力を生かして協力できることがわかる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 係活動見直しのチェックシートを見比べ、今までの係活動を振り返る。 2 資料『係活動ダイヤモンド』を読んで、活動への取り組み方を考える。 3 これからの自分たちの係活動を、どんな気持ちで取り組んでいくのかを考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>今までの係活動を客観的に見直すためのチェックシートの活用例が示されている。前時で話題とした係活動の場合について、それぞれのメンバーが話し合っている内容を参考にして、自分たちの係活動の実態を振り返らせ、これからの係活動が充実したものになるための方向性を見つけさせる資料である。</p>	<p>【展開後段】 P70・P74 を活用して、自分たちの学級について話し合わせる。</p>
--------	--	--	---	--

【私たちの道徳】 同じ仲間だから【主題名／友達と互いに理解し合って】〈友情, 信頼〉

6 月				<p>【展開後段】 P70・P74 を活用して、自分たちの学級について話し合わせる。</p>
--------	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
11. キツネおどり〔主題名／ふるさとを大切に〕〈伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度〉				
6月	<p>◎郷土の文化と伝統を大切にし、郷土の伝統行事に進んで参加しようとする。</p> <p>*郷土の文化や伝統を愛し、守っていかうとする人々の心に感動することができる。</p> <p>*郷土の文化や伝統が現在でも生き生きと伝えられていることがわかる。</p> <p>*郷土の文化や伝統を大切にすることは、地域社会の生活に積極的に参加することであることに気づく。</p> <p>*郷土の祭りや諸行事に積極的に参加しようとする意欲をもつことができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分の家のお盆の行事について話し合う。 2 「キツネおどり」の練習に取り組む主人公「まさる」の気持ちを考えながら、資料『キツネおどり』を読む。 3 踊りの練習が嫌になってきた「まさる」の気持ちについて話し合う。 4 練習が嫌だった「まさる」の「おどりを続けてきてよかったと思った」という心の変化について話し合う。 5 自分たちの地域に古くから伝わる行事や楽しみにしている行事について話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『キツネおどり』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②社会科の授業……郷土の学習や地域の文化財などの調査学習をさせる。 ③総合的な学習の時間……地域の行事の継承者不足や地域の活性化等を話題にし、児童それぞれが課題をもって地域の行事に参加する学習を組む。 	<p>【導入】P159～P161 を活用して、郷土のよさを話し合わせる。</p> <p>【終末】P162・P163 を活用して、まとめの活動をさせる。</p>

12. お年よりって、すごいなあ〔主題名／お年よりのすばらしさ〕〈感謝〉

7月	<p>◎高齢者に対して、尊敬と感謝の気持ちで接しようとする。</p> <p>*高齢者は長い人生を過ごして豊かな経験に基づく知恵をもっていることがわかる。</p> <p>*自分たちは、高齢者に支えられて生活できていることがわかる。</p> <p>*そうした高齢者の生き方や知恵に対して、尊敬の念をもち、感謝する心をもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分は、日ごろどんな人にお世話になっているかについて話し合う。 2 児童書 P44・P45 のさし絵や文を読んで、お年寄りはどうな考えで働いているかについて話し合う。 3 児童書の次の2ページのさし絵や文を読んで、お年寄りの知恵や生活のしかたについて話し合う。 4 文末のワークに記入して、学習したことをまとめる。 5 ゲストティーチャーとして招いたお年寄りの話を聞く。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『お年よりって、すごいなあ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②総合的な学習の時間……お世話になっているお年寄りに感謝状を書いて渡す活動を設定する。 	<p>【導入】P82・P83 を活用して、人々はいろいろ支え合って生活していることを学ばせる。</p> <p>【展開後段】P84・P85 を活用して、お年よりのすごさについて広げさせる。</p> <p>【終末】P86・P87 を活用して、まとめさせる。</p>
----	---	---	---	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
13. はた・らく【主題名／すすんではたらく】〈勤労、公共の精神〉				
7月	<p>◎周りの人のことを考えて働く感謝され、自分もうれしい気持ちになることがわかり、進んで仕事をしようとする。</p> <p>*人のために働いている人を見て、りっぱだなあと心が動く。</p> <p>*人のために働けば、周りの人に喜ばれ自分もうれしくなることがわかる。</p> <p>*人のためになる仕事を進んでしようとする。</p>	<p>1 周りの人のために働いている人はどんな気持ちで働いているのかを考える。</p> <p>2 資料『はた・らく』を読んで主人公の気持ちの高まりを話し合う。</p> <p>3 自分が人のために働いた経験や自分がやりたい仕事について話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『はた・らく』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……家庭との連携を図り、「これがわたしの仕事」としてみんなも喜ぶ仕事をしていくようにさせる。</p> <p>③読書活動など……係や当番活動の内容について見直し、自分たちからの発信した取り組みになるようにさせる。</p> <p>④総合的な学習の時間……地域で活動している人たちを調べ、その人たちの功績を話し合う機会をもつようにさせる。</p>	<p>【導入】P130・P131, P134・P135 を活用して、いろいろな人が働いていることについて話し合わせる。</p> <p>【終末】P132 を活用して、学んだことをまとめさせる。</p> <p>【発展】P133 を活用して、発展的な活動をさせる。</p>

14. ないた赤おに【主題名／ほんとうの友だち】〈友情、信頼〉

9月	<p>◎友達のことを心から思いやり、自分にできることを精いっぱいしようとする。</p> <p>*友達のことを心から思いやる心をもって、友達のために精いっぱい尽くした人の心や行為に触れて、感動することができる。</p> <p>*友達のことを思いやり、友達のために精いっぱいしようとする心は、自分も持っていることがわかる。</p> <p>*友達のことを心から思いやり、支え合って生活していこうとする。</p>	<p>1 好きな人が出てくるかなという問いをもって資料『ないた赤おに』を読む。</p> <p>2 どんな好きな人が出てきたかについて話し合う。</p> <p>3 青おにや赤おにが好きなわけについて話し合う。</p> <p>4 友達のためにがまんした人はほかにいないかについて話し合う。</p> <p>5 友達のためにがまんした人の話をもっと探そうという課題について話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ないた赤おに』を読んで、思いやりの心について話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活・総合的な学習の時間……「思いやりの心をもった人はほかにいないだろうか」という課題をもって調べたり発表したりさせる。</p>	<p>【導入①】P74 を活用して、友情とは何か話し合わせる。</p> <p>【導入②】P70・P71 を活用して、友達がいてよかったと思う経験を話し合わせる。</p> <p>【終末】P75 を活用して、友達に関する歌を歌わせる。</p> <p>【発展】P72・P73 を活用して、友達のよさを見つれたり、大切さを感じたりしたことを記録させる。</p>
----	--	---	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】同じ仲間だから〔主題名／友達とたがいに理解し合っ〕〈友情，信頼〉				
9 月				<p>【導入①】P74 を活用して，友情とは何か話し合わせる。</p> <p>【導入②】P70・P71 を活用して，友達がいてよかったと思う経験を話し合わせる。</p> <p>【終末】P75 を活用して，友達に関する歌を歌わせる。</p> <p>【発展】P72・P73 を活用して，友達のよさを見つけたり，大切さを感じたりしたことを記録させる。</p>

15. やくそくだもん〔主題名／やくそくをまもる〕〈規則の尊重〉

9 月	<p>◎約束を守ることの大切さがわかり，進んで約束を守ろうとする態度を育てる。</p> <p>*約束を守るために一生懸命努力した人の話に感動することができる。</p> <p>*なぜ約束を守らなければならないかを考え，約束守ることは人と人との関係を強く結びつけていくことがわかる。</p> <p>*日常生活の中で約束を守ろうとする。</p>	<p>1 約束について考える。</p> <p>2 資料『やくそくだもん』を読み，約束を守る意味について考える。</p> <p>3 これからの約束について考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『やくそくだもん』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……家族や友達との約束を守ろうと努力するようにさせる。</p> <p>③読書活動など……約束を守る大切さがテーマの物語を読ませる。</p>	<p>【導入】P120・P121 を活用して，きまりや約束について話し合わせる。</p>
--------	---	--	--	--

【私たちの道徳】雨のバス停留所で〔主題名／社会のきまりを守って〕〈規則の尊重〉

9 月				<p>【導入】P120・P121 を活用して，きまりや約束について話し合わせる。</p>
--------	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

重点主題

16 いのちのまつり

17 いただきます

18 ぼくは何を

▶ 重点主題名／自分のいのち〔自他の生命を尊重する〕

【重点主題のねらい】

◎受け継いだ自分の命の尊さを感じ取り、生命力を輝かせて生きようと努力する。

*生を受けたことのすばらしさを知り、受け継がれてきた命の尊さに気づく。

*自他のつながりの中で自分の生命力が高められていることがわかる。

*自他の生命の尊さがわかり、自分の命を輝かせて、よりよく生きようとする。

16. いのちのまつり〔主題名／いのちのつながり〕〈生命の尊さ / 家族愛、家庭生活の充実〉

9月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○人の命は、多くの祖先のリレーによって綿々と受け継がれてきたことがわかり、感動する。</p> <p>○自分の命も、両親・祖父母・先祖…というように、たくさんの祖先のリレーによって受け継がれてきたことがわかる。</p>	<p>1 自分の祖父母との関係を考える。</p> <p>2 資料『いのちのまつり』を読み、“いのちのリレー”について考える。</p> <p>3 自分も命のつながりを調べようという課題をもつ。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>先祖を敬い大切にする沖縄の「オバア」の話から、昔からつながってきた命のバトンを、自分もリレーしているという思いをもつ主人公の心情に共感させたい。</p>	<p>【導入】P90・P91 を活用して、命とは何か話し合わせる。</p> <p>【終末】重点主題の最後に、P94・P95 の詩を朗読させる。</p>
----	--	---	--	---

17. いただきます〔主題名／元気のもと〕〈生命の尊さ / 感謝〉

9月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○自分の生命力は、他の生命とのかかわりの中で、それらの恩恵を受けながら高められていることがわかり、感動する。</p> <p>○一食の中にも多くの命が込められていることを自覚し、感謝の念をもって生活していこうとする。</p>	<p>1 「あいさつ言葉」について考える。</p> <p>2 資料『いただきます』を読んで、食事時のあいさつについて考える。</p> <p>3 食事のときの心構えについて確認する。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>「いただきます」の言葉にはどんな意味があるのかを考え、たくさんの命とのつながりの中で生きている自分を見つめさせる契機としたい。</p>	<p>【導入】P90・P91 を活用して、命とは何か話し合わせる。</p> <p>【終末】重点主題の最後に、P94・P95 の詩を朗読させる。</p>
----	---	--	---	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

18. ぼくは何を〔主題名／いのちをかがやかせる〕〈生命の尊さ / 個性の伸長〉

10 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の命は、先祖からの命のリレーやたくさんの命の支えによって輝いていることがわかり、大切にしようとする。 ○自分の命を大切にするために、今の自分に満足しないで、より高い目標に向かって自分を輝かせていこうとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 これまで学習してきた「いのちのリレー」や「いのちの支え合い」についてまとめ、これからの自分について考える。 2 資料『ぼくは何を』を読み、今の自分・これからの自分について考える。 3 今の自分・これからの自分についての考えをまとめる。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>この詩を味わい、身の周りのよりよく生きようとする生命力を感じ取らせ、今の自分・これからの自分について見つめ直させたい。</p>	<p>【導入】P90・P91 を活用して、命とは何か話し合わせる。</p> <p>【終末】重点主題の最後に、P94・P95 の詩を朗読させる。</p>
---------	--	---	---	---

【私たちの道徳】ヒキガエルとロバ〔主題名／命あるものを大切に〕〈生命の尊さ〉

10 月				<p>【導入】P90・P91 を活用して、命とは何か話し合わせる。</p> <p>【終末】重点主題の最後に、P94・P95 の詩を朗読させる。</p>
---------	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
19. ぼくらは小さななかにはかせ【主題名／自分をステップアップ】〈希望と勇気、努力と強い意志〉				
10月	<p>◎自分から進んで目標を立て、障害や困難を自分で乗り越え、粘り強くやり遂げようとする。</p> <p>*自分が決めた目標には、粘り強くやり遂げようとするエネルギーがあることに気づく。</p> <p>*目標をやり遂げるためには、障害や困難を自力で乗り越えようとする強い意志が大切であることがわかる。</p> <p>*自分の目標を決め、どのようなことがあっても、その目標に向かって努力しようとする。</p>	<p>1 「遊び」と「学び」の違いについて考える。</p> <p>2 資料『ぼくらは小さななかにはかせ』を読んだ感想を話し合う。</p> <p>3 「はかせ」になる「秘けつ」は何かを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ぼくらは小さななかにはかせ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……自分の目標（今、何をやろうとしているのか）を決め、何を積み重ねて、どうやり遂げるのか計画を立て、その秘けつを家族や友達に聞くようにさせる。</p> <p>③読書活動など……目標をもって努力した人の話を選んで読ませる。</p> <p>④総合的な学習の時間……「地域の環境活動」などのプロジェクトを組み、学校の周辺の生き物について調べ、わからないことがなくなるまで学ぶような機会をつくってあげる。</p>	<p>【終末】P22～P24 を活用して、自分はどうのような目標をもってチャレンジするかについてまとめさせる。</p>
【私たちの道徳】きっとできる【主題名／やろうと決めたことは最後まで】〈希望と勇気、努力と強い意志〉				
10月				<p>【終末】P22～P24 を活用して、自分はどうのような目標をもってチャレンジするかについてまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
20. 花さき山〔主題名／心のうつくしさ〕〈感動，畏敬の念〉				
10月	<p>◎人の心の美しさや清らかさに感動し、自分もそういう心をもとうとする。</p> <p>*資料『花さき山』を読んで、感動することができる。</p> <p>*他者のためにがまんするのは、自己犠牲ではなく、他者の喜びを自分の喜びとする心から発していることがわかる。</p> <p>*他者の喜びを自分の喜びとする心は、自分も持っていることを自覚する。</p> <p>*その心を大切にしていこうとする。</p>	<p>1 資料『花さき山』を聞く。</p> <p>2 目を閉じて、花さき山にはどんな花が咲いているかを想像する。</p> <p>3 その花はだれが咲かせたかについて話し合う。</p> <p>4 あややあんちゃんのどんな心が、その花を咲かせたかについて話し合う。</p> <p>5 花さき山に花を咲かせた人はほかにいないかについて紹介し合う。</p> <p>6 美しい心をもった人の話をたくさん読もうと話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『花さき山』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……美しい心が描かれている本をたくさん読ませる。</p>	<p>【導入】P108～P110 を活用して、美しいものについて話し合う。</p> <p>【終末】P111 を活用して、まとめさせる。</p>
【私たちの道徳】富士と北斎〔主題名／美しいものを感じて〕〈感動，畏敬の念〉				
10月				<p>【導入】P108～P110 を活用して、美しいものについて話し合う。</p> <p>【終末】P111 を活用して、まとめさせる。</p>
21. ぼくは 太郎山〔主題名／自分たちの郷土をあいする心をもつ〕〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度〉				
10月	<p>◎自分たちの郷土のすばらしさを知り、それを守っていこうとする。</p> <p>*太郎山や男体山を守ろうとする人々の生き方を見て、感動する。</p> <p>*ふるさとはすぐれた自然や文化などがあることがわかる。</p> <p>*ふるさとの自然や文化を守り、伝えていこうとする。</p>	<p>1 社会科で行った町探検を振り返り、【紹介したい所】を発表する。</p> <p>2 資料『ぼくは 太郎山』を読んで話し合う。</p> <p>3 「ぼくたち、ここに生まれてよかったね。」という言葉はどんな心から生まれてきたのかを話し合う。</p> <p>4 町探検で発見した【紹介したい所】を大切に守るために大事なことを考える。</p>	<p>①社会科……「町探検」を通して自分たちの地域を見つめ直させる。</p> <p>②道徳の授業……資料『ぼくは 太郎山』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③日常生活……家の人や地域の古老に聞いて、地域のよさをわからせる。</p> <p>④総合的な学習の時間……「わたしたちの町の見所マップ」を作成し、地域のよさを再発見する機会をつくるようにさせる。</p>	<p>【展開後段】P158・P159 を活用して、自分たちの郷土を紹介し合わせる。</p> <p>【終末】P162 を活用して、朗読させる。</p> <p>【発展】P163 を活用して、短歌づくりをさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
22. ぼくのたからもの〔主題名／大切なたからもの〕〈節度、節制〉				
11月	<p>◎物や金銭の値打ちを知り、それを生かして大切にしようとする。</p> <p>＊物や金銭を大切に、ありがたいと感じる人の心がわかり、感動することができる。</p> <p>＊物や金銭にかかわる人々の思いや願いがわかり、その物の値打ちがわかる。</p> <p>＊自分の心の中にも、物や金銭を大切にしようとする心があることに気づく。</p> <p>＊物や金銭を大切にしようとする心をもって、日々実践していく。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 人から買ってもらってうれしかった物を紹介し合う。 2 自分にとって大切な宝物を思い浮かべながら、資料『ぼくのたからもの』を読む。 3 「ぼく」が「こん虫図かん」を大切にしているわけについて話し合う。 4 資料の『ぼくのたからもの』に出てくる「ぼく」と自分とを比べる。 5 「ぼく」と同じように宝物を大切にしている経験を出し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『ぼくのたからもの』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②社会科……「買い物調べ」をする中で、自分の家で買った物や値段がわかり、物や金銭を大切にしていることとする気持ちをもたせる。 ③日常生活……家族の「たからもの」を調べ、その理由を聞かせる。 	<p>【導入】P10を読んで、ものを大切に使用しなければならないわけについて話し合う。</p> <p>【終末】P10～P13を活用して、節度ある生活をするために、どんなことに気をつけたらよいか話し合わせる。</p>
【私たちの道徳】少しだけなら〔主題名／よく考えて節度ある生活を〕〈節度、節制〉				
11月				<p>【導入】P10を読んで、ものを大切に使用しなければならないわけについて話し合う。</p> <p>【終末】P10～P13を活用して、節度ある生活をするために、どんなことに気をつけたらよいか話し合わせる。</p>
23. いちょうの木をまもるために〔主題名／学校をまもる人〕〈よりよい学校生活、集団生活の充実〉				
11月	<p>◎先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学校をつくろうとする。</p> <p>＊学校生活は学校にかかわるいろいろな人々によって支えられていることがわかり、感謝の気持ちをもつことができる。</p> <p>＊自分の学級・学校のよいところがたくさんあることがわかる。</p> <p>＊明るく楽しい学級・学校にするために、自分たちにできることを見つけ、向上できるように進んで取り組む。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校や学級が楽しい、好きだと思うときはどんなときかを話し合う。 2 資料『いちょうの木をまもるために』を読んで、いちょうの木を守るためのいろいろな人の心や行為について話し合う。 3 学校や学級で大切にしているものにはどんなものがあるかを探す。 4 学校や学級のために自分たちにできることを探して話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『いちょうの木をまもるために』を読んで、考えさせる。〔本時〕 ②日常生活……学校で働く人々に関心に向けてような各種の活動を体験させる。 ③総合的な学習の時間……学校の自慢などをテーマにした追究活動を行わせる。 	<p>【展開後段】P150～P152を活用して、学校やクラスのために自分たちにどんなことができるか話し合わせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

【私たちの道徳】みんな待っているよ【主題名／協力し合って楽しい学校、学級を】〈よりよい学校生活、集団生活の充実〉

11 月				【展開後段】P150～P152 を活用して、学校やクラスのために自分たちにどんなことができるか話し合わせる。
---------	--	--	--	--

24. 思いきって言ったらどうなるの？【主題名／どうすることが正しいか】〈善悪の判断，自律，自由と責任〉

11 月	<p>◎相手がだれであっても正しいと思ったことは勇気をもって伝え、まちがっていると思ったことは勇気をもってやめさせることができる。</p> <p>*どうすることが正しいか、自分で判断することができる。</p> <p>*自分が正しいと思ったことを相手に伝えるには、ときには勇気が必要なことがわかる。</p> <p>*自分が正しいと思ったことは、勇気をもって実行していこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「勇気」を発揮するのは、どんなときかを想起する。 資料『思いきって言ったらどうなるの？』を読み、主人公の心の中の戦いについて話し合う。 ともこが正しいと思ったことを思いきって言ったらどうなるのかを考えて書き、発表する。 教師の説話を聞く。 	<ol style="list-style-type: none"> 授業前……「勇気」について考えさせておく。(日記・アンケートなど) 道徳の授業……資料『思いきって言ったらどうなるの？』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 授業後……勇気をもらえる物語を探して、感想を紹介させる(朝の会・帰りの会・掲示)。 	<p>【導入】P30～P32 を活用して、どうして勇気が出せないかについて話し合わせる。</p> <p>【終末】P33 上段を活用して、学んだことをまとめさせる。</p> <p>【発展】P33 下段を活用して、勇気が出せた経験を記録させる。</p>
---------	--	--	--	--

【私たちの道徳】よわむし太郎【主題名／正しいことは勇気をもって】〈善悪の判断，自律，自由と責任〉

11 月				<p>【導入】P30～P32 を活用して、どうして勇気が出せないかについて話し合わせる。</p> <p>【終末】P33 上段を活用して、学んだことをまとめさせる。</p> <p>【発展】P33 下段を活用して、勇気が出せた経験を記録させる。</p>
---------	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
25. ぼうや、生きていてくれよ【主題名／かんしゃの心】〈感謝〉				
11月	<p>◎自分はいろいろな人に支えられていることを知り、それらの人々に尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。</p> <p>*危険を顧みず、子どもの命を救った人の心や行為に感動することができる。</p> <p>*自分たちの生活を支えるために、たくさんの人が昼夜を分かたず働いていることがわかる。</p> <p>*それらの人々は、人々を支えることに喜びや生きがいをもって仕事をしていることがわかる。</p> <p>*自分たちを支えてくれている人々の心や行為に尊敬の念を抱き、感謝の心をもって生活していこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会科で学習した消防士はどんな気持ちで働いているかを想像し、話し合う。 2 資料『ぼうや、生きていてくれよ』を読んで、話し合う。 3 みんなのために働いている人々はどんな気持ちで仕事をしているかについて話し合う。 4 この学習をする前と後では、働く人に対する自分の考えはどのように変わったかについて話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①社会科……………「人々の仕事とわたしたちのくらし」について学習させる。 ②道徳の授業……資料『ぼうや、生きていてくれよ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ③日常生活……………働いている人は、どんな考えで働いているかについて調べさせ、発表させる。 	<p>【導入】P82・P83 を活用して、自分たちはたくさんの人々に支えられていることを話し合わせる。</p> <p>【展開後段】P84・P85 を活用して、お年よりに注目させ、どのように支えられているかについて話し合わせる。</p> <p>【終末】P86・P87 を読んで、まとめさせる。</p>
26. お母さん、なぜでねこむーちびまる子ちゃんー【主題名／家族への思いやり】〈家族愛、家庭生活の充実〉				
12月	<p>◎家族に感謝し、家族のためにできることを進んでしようとする。</p> <p>*自分のことを大切に思う母の気持ちを知り、泣きながら眠るまる子の気持ちに共感する。</p> <p>*両親や祖父母は家族を支えるためにがんばってきたことがわかる。</p> <p>*家族のために自分のできることをしようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 家族に感謝した経験について話し合う。 2 資料『お母さん、なぜでねこむ』を読んで、まる子の気持ちに共感する。 3 自分の家族について考える。 4 家族の在り方について考える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『お母さん、なぜでねこむ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……………家族に感謝する態度で生活させる。 ③読書活動など…家族の助け合いについて書かれた本を紹介させる。 ④授業参観……………家族に感謝する作文を書かせる。 	<p>【展開後段】P136・P137 を活用して、自分の家族の支え合いについて話し合わせる。</p> <p>【終末】P140 を活用して、まとめさせる。</p> <p>【発展】P141 を活用して、今後の自分をまとめさせ、実行させる。</p>
【私たちの道徳】ブラッドレーのせい求書【主題名／家族みんなで協力し合って】〈家族愛、家庭生活の充実〉				
12月				<p>【展開後段】P136・P137 を活用して、自分の家族の支え合いについて話し合わせる。</p> <p>【終末】P140 を活用して、まとめさせる。</p> <p>【発展】P141 を活用して、今後の自分をまとめさせ、実行させる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
27. 生きたれいぎ〔主題名／生きたれいぎ〕〈礼儀〉				
12月	<p>◎礼儀の大切さを知り、だれに対しても心を込めて接しようとする。</p> <p>*礼儀は、単に目に見える動作のよさだけでなく、相手の人格を尊重する心から発していることが大切であることに気づく。</p> <p>*そのような心と形（作法や態度）が合わさったとき、人の心を温かくすることがわかる。</p> <p>*相手に対して心を込めて礼儀をつくそうとする意欲をもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「礼儀」の一つの具体的な形である「はしの使い方」について話し合う。 2 資料『生きたれいぎ』を読んで、話し合う。 3 「生きたれいぎ」とはどんなことを考える。 4 自分たちの身近で見たり聞いたりした「生きたれいぎ」を発表する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『生きたれいぎ』を読んで、「礼儀」について話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……「礼儀正しくしてよかったこと」などを、朝の会・帰りの会で発表させる。 ③家庭生活……資料『生きたれいぎ』を家族で読み合い、家庭での礼儀を話し合わせる。 	<p>【展開後段】P56～P58 を活用して、生きた礼儀としての形と心の一致について話し合わせる。</p> <p>【終末】P59 を活用して、礼儀名人を目指すよう指導する。 P60・P61 を活用して、日本の礼儀について教師が話す。</p> <p>【発展】P60・P61 を活用して、日本の礼儀について調べ学習をさせる。</p>
28. こまったときは、おたがいさま〔主題名／日本人の心〕〈伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 / 国際理解、国際親善〉				
1月	<p>◎日本の文化や伝統のよさを知り、それを大切にしようとする。</p> <p>*東日本大震災という多くの被害者を出した出来事に立ち向かい、助け合ったり支え合ったりして生活していることに感動する。</p> <p>*「こまったときは、おたがいさま」という日本人に受け継がれた思いやりの精神を知る。</p> <p>*困難なときに互いに助け合うことの他にも、日本人のよさを進んで見つけるということを通して、相手を思いやる心や精神を大切にしようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本のよいところを考える。 2 資料『こまったときは、おたがいさま』を読んで、題名について考える。 3 自分が知っている「日本人のいいところ」だと思ふことを発表する。 4 日本人として何を大切にしていきたいかを話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『こまったときは、おたがいさま』を読んで、日本の文化や伝統のよさを再認識させる。〔本時〕 ②日常生活……「こまったときは、おたがいさま」という思いやりの気持ちで生活させる。 ③総合的な学習の時間……東日本大震災のときに人々がとった行動やエピソードなどについて調べ、発表させる。 	<p>【導入】P164～P169 を活用して、日本のよい所を発表させ、日本人の心のよい所はないかと問い、資料に入らせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

29. 太郎のいどう教室【主題名／いつもきちんと】〈節度、節制〉

1 月	<p>◎整理整とんの大切さを知り、自分から生活を整えていこうとする。</p> <p>*整理整とんは、快適な生活のための身につけたい基本的な生活習慣であることに気づく。</p> <p>*整理整とんは、自主的な行動の積み重ねによって、身につけていく生活習慣であることがわかる。</p> <p>*整理整とんを見直し、自分から進んでよい生活習慣を身につけていこうとする。</p>	<p>1 「いつもきちんと」について考える。</p> <p>2 資料『太郎のいどう教室』を読み、太郎の変容を通して「整理整とん」について考える。</p> <p>3 『太郎のいどう教室』のお話の続きを書いて、交流する。</p> <p>4 今後の生活で整理整とんを進んでするよさとその秘けつを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『太郎のいどう教室』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……自分の机の中やロッカーの整理整とんについて朝の会等で確認し合わせる。</p> <p>③読書活動など…自分の生活を見つめ、活躍しているスポーツ選手の人物伝を読ませる。</p> <p>④総合的な学習の時間……「地域探検・地域発見」などのプロジェクトを組み、商店街などの見学を通して、さまざまな物が整理整とんされていることに気づかせる。</p>	<p>【展開後段】節度ある生活をするには、身の回りの整とんだけではなく、どんなことが大切かについて P10・P11 を活用して学習を広げさせる。</p> <p>【終末】 P12・P13 を活用して、大人の人々の節度・節制について説明し、はげます。</p>
--------	---	--	---	---

【私たちの道徳】少しだけなら【主題名／よく考えて節度ある生活を】〈節度、節制〉

1 月				<p>【展開後段】節度ある生活をするには、身の回りの整とんだけではなく、どんなことが大切かについて P10・P11 を活用して学習を広げさせる。</p> <p>【終末】 P12・P13 を活用して、大人の人々の節度・節制について説明し、はげます。</p>
--------	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

30. 大切ないのち〔主題名／大切ないのち〕〈生命の尊さ〉

2 月	<p>◎生命の尊さを体全体で感じ取り、生命あるものすべてを大切にしようとする。</p> <p>*自分の命は多くの人たちによって大切にされ、支えられていることがわかる。</p> <p>*自分や他人の命はかけがえのないものであり、自分にもそれを大切にしようとする心があることに気づく。</p> <p>*自分も持っているたくましい生命力を輝かせようとする意欲をもつ。</p>	<p>1 「かけがえのないもの」とは何かについて話し合う。</p> <p>2 資料『大切ないのち』を読んだ感想を話し合う。</p> <p>3 「いのち」とは、何かを考える。</p> <p>4 自分なりの「いのちの大切さ」を提言する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『大切ないのち』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……今まで飼育した動植物を思い出し、生死に直面したことを話し合ったり、「生きること」について家族といっしょに考えたりさせる。</p> <p>③読書活動など……生き物を大切にすること本などを読み、紹介し合わせる。</p> <p>④総合的な学習の時間……「学校の生き物調査」などのプロジェクトを組み、学校で飼育されている生き物の環境について学び、生命を大切にする飼育環境を整える計画を立てさせる。</p>	<p>【導入】P92・P93 を活用して、助け合って生活している人々について話し合い、その中のひとつの例として、『大切ないのち』を通して考えようと意欲づける。</p> <p>【展開後段】P90・P91 を活用して、自分はどう生きたらよいかについて考えさせる。</p> <p>【終末】P94・P95 の詩を朗読させて、まとめに代える。</p>
--------	--	--	--	--

【私たちの道徳】ヒキガエルとロバ〔主題名／命あるものを大切に〕〈生命の尊さ〉

2 月				<p>【導入】P92・P93 を活用して、助け合って生活している人々について話し合い、その中のひとつの例として、『ヒキガエルとロバ』を通して考えようと意欲づける。</p> <p>【展開後段】P90・P91 を活用して、自分はどう生きたらよいかについて考えさせる。</p> <p>【終末】P94・P95 の詩を朗読させて、まとめに代える。</p>
--------	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

重点主題

31 なんてくん

32 こまるのはだれ？ これでもいいのかな？ ▶ 重点主題名／きまりは何のため、だれのため？〔きまりを守る〕

33 なるほどね

【重点主題のねらい】

◎約束や社会のきまりを守り、公德心をもって生活していこうとする。

*学校生活や社会生活をおくるうえでは、たくさんの約束やきまりがあることがわかる。

*お互いが安全で気持ちよく生活するために、約束や社会のきまりは必要であり、守らなければならないものであることを理解する。

*気持ちよく生活をおくるために、みんなが互いに守らなければならない約束や社会のきまりを守っていこうとする。

31. なんてくん【主題名／きまりがあるわけ】〈規則の尊重 / よりよい学校生活、集団生活の充実〉

2 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校生活では約束やきまりがたくさんあることがわかる。 ○学校の約束やきまりは、みんなが安全で楽しく学校生活を過ごすために必要なものであることがわかる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 身の周りがあるきまりについて考える。 2 資料『なんてくん』を読んで、きまりは何のためにあるのかを考える。 3 もし、学校にきまりがなかったらどうなるのかを考える。 4 きまりがあるわけを考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>学校のきまりに疑問をもった1年生にきまりの意味等を考えて教えることを通して、約束や社会のきまりに対する自分の考えを見つめ直させる。そして、それらが自分たちの生活で必要なものであると自覚させることのできる資料である。</p>	<p>【導入】P120～P123を活用して、私たちのまわりにあるきまりについて話し合わせる。</p> <p>【終末】P119の写真を活用して、きまりを守る日本人のすばらしさについて教師が話す。</p>
--------	--	---	---	--

32. こまるのはだれ？ これでもいいのかな？【主題名／きまりは何のため】〈規則の尊重 / 友情、信頼〉

2 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校や学級の約束やきまりの正しい使い方を理解して、運用していこうとする。 ○学級の約束や学校のきまりが必要なわけと、それらを正しく理解して生活していくことが大切であることがわかる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校や学級でおろそかにしている約束やきまりを再確認する。 2 資料『こまるのはだれ？ これでもいいのかな？』を読み、約束やきまりの運用について考える。 3 おろそかにしている身の周りの約束やきまりについて考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>学級のきまりを、つごうのいいように解釈してしまう行動を客観的に見つめさせる。そして、自分たちの日々の行動を振り返るとともに、約束やきまりが何のためにあるのかを正しく理解して生活することの大切さを考えさせる資料である。</p>	<p>【導入】P120～P123を活用して、私たちのまわりにあるきまりについて話し合わせる。</p> <p>【終末】P119の写真を活用して、きまりを守る日本人のすばらしさについて教師が話す。</p>
--------	---	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
33. なるほどね【主題名／きまりはだれのため】〈規則の尊重 / 親切, 思いやり〉				
2月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○約束や社会のきまりにも目を向け、それは、みんなが気持ちよく生活するためのものであることがわかる。</p> <p>○一人一人が約束やきまりを守ろうとする心をもって生活することで、豊かな社会が築かれていくことに気づく。</p>	<p>1 資料『なるほどね』を読み、公共の場でのきまりの表示等が知らせていることについて考える。</p> <p>2 公共の場で約束やきまりが必要な場面を、観点を決めて考える。</p> <p>3 約束や社会のきまりの大切さについて考える。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>学校や家庭、一般社会でも約束やきまりを守りながら人々は生活している。だれのための約束や社会のきまりかを考えさせ、それらを守ろうとする人々の心と心のつながりが豊かな社会を築いていくことを理解させる資料である。</p>	<p>【導入】 P120～P123 を活用して、私たちのまわりにあるきまりについて話し合わせる。</p> <p>【終末】 P119 の写真を活用して、きまりを守る日本人のすばらしさについて教師が話す。</p>
【私たちの道徳】 雨のバス停留所で【主題名／社会のきまりを守って】〈規則の尊重〉				
2月				<p>【導入】 P120～P123 を活用して、私たちのまわりにあるきまりについて話し合わせる。</p> <p>【終末】 P119 の写真を活用して、きまりを守る日本人のすばらしさについて教師が話す。</p>
34. 赤い灯 ゆれろ【主題名／友だちのすばらしさ】〈友情, 信頼〉				
3月	<p>◎友達を互いに理解し、信頼し、助け合う。</p> <p>* 友達の心をくみ取り、自分にできることを精いっぱいに行う姿に感動する。</p> <p>* 相手をよく理解するとともに、友達の悲しみや喜びを自分の悲しみや喜びとすることができる。友情が深まることわかる。</p> <p>* 自分にも友達の悲しみや喜びを自分の悲しみや喜びとする心があることに気づく。</p> <p>* 友達どうし、相手の気持ちを理解し、助け合っていこうとする意欲をもつことができる。</p>	<p>1 友達っていいなと思ったことについて考える。</p> <p>2 資料『赤い灯 ゆれろ』を読み、3人の友達がなぜ、病室から見えるところに雪どうを作っていたのかについて考える。</p> <p>3 自分たちにも友達の心をわかろうとすることがあるかを考える。</p>	<p>① 帰りの会……友達のよいところを見つけ、『道徳ノート』に記入させる。</p> <p>② 道徳の授業……資料『赤い灯 ゆれろ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③ 読書活動など……友情について書かれた本を採って読ませる。</p>	<p>【導入】 P70・P71 を活用して、友達がいてよかったと思うことについて話し合い、どんな友達がいたらよいかについて考えさせる。</p> <p>【終末①】 P74 を活用して、「本当の友達」についてまとめさせる。</p> <p>【終末②】 P75 を活用して、「友達の歌」を歌わせ、まとめに代える。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】同じ仲間だから〔主題名／友達とたがいに理解し合って〕〈友情，信頼〉				
3月				<p>【導入】P70・P71 を活用して、友達がいてよかったと思うことについて話し合い、どんな友達がいたらよいかについて考えさせる。</p> <p>【終末①】P74 を活用して、「本当の友達」についてまとめさせる。</p> <p>【終末②】P75 を活用して、「友達の歌」を歌わせ、まとめに代える。</p>
35. ありがとうな，ありがとうな〔主題名／人にやさしく〕〈親切，思いやり〉				
3月	<p>◎相手の気持ちを思いやり，親切にするように心がける。</p> <p>*人に親切にされると，いい気持ちになることがわかる。</p> <p>*人に親切にしても，いい気持ちになることがわかる。</p> <p>*親切は，思いやりの心から生まれることがわかる。</p> <p>*だれに対しても，思いやりの心をもって親切にしようと心がけるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料を読んで，感想を自由に発表し合う。 2 感想を整理し，主な感想の一つ一つについて詳しく話し合う。 3 親切について，教師の話聞く。 4 友達や自分の思いやりの心を探して，『道徳ノート』に記入し発表し合う。 	<p>①道徳の授業……資料『ありがとうな，ありがとうな』を読んで，思いやりや親切について話し合わせる。 〔本時〕</p> <p>②日常生活……「思いやりのリレーをしよう」と投げかけ，実践を促す。</p>	<p>【展開後段】「思いやりの心」とは，どんな心かについて，P62・P63 を活用して話し合わせる。</p> <p>【終末】「思いやりの心」が描かれている文学作品を P64・P65 を活用して話す。</p> <p>【発展】P64・P65 を活用して，文学作品を読むようすすめる。</p>
【私たちの道徳】心と心のあく手〔主題名／相手を思いやり親切に〕〈親切，思いやり〉				
3月				<p>【展開後段】「思いやりの心」とは，どんな心かについて，P62・P63 を活用して話し合わせる。</p> <p>【終末】「思いやりの心」が描かれている文学作品を P64・P65 を活用して話す。</p> <p>【発展】P64・P65 を活用して，文学作品を読むようすすめる。</p>